

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年2月8日(2018.2.8)

【公表番号】特表2016-522062(P2016-522062A)

【公表日】平成28年7月28日(2016.7.28)

【年通号数】公開・登録公報2016-045

【出願番号】特願2016-520776(P2016-520776)

【国際特許分類】

A 6 1 M 16/06 (2006.01)

A 6 1 M 16/20 (2006.01)

A 6 1 M 16/00 (2006.01)

A 6 3 B 23/18 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 16/06 D

A 6 1 M 16/20 Z

A 6 1 M 16/00 3 5 5 A

A 6 3 B 23/18

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月25日(2017.12.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

咳を補助するための装置であり、

筐体と、

前記筐体において形成されたチャンバと、

前記チャンバと通じてあり、前記筐体の外へ露出されているマウスピースと、

予め設定された周波数で前記チャンバを開ける、又は、閉じるための電磁バルブアセンブリであり、相互に可動なプランジャーと、前記筐体内において前記プランジャーの周囲に配置されたコイルアセンブリと、前記プランジャーの自由端に配置された栓と、閉位置において前記電磁バルブアセンブリを保持するための保持部材と、を有する前記電磁バルブアセンブリ

を有する、装置において、前記装置はさらに、

前記チャンバ内の圧力を感知するとともに、前記チャンバ内の圧力が所定の圧力値に到達すると制御信号を生成するためのセンサと、

前記センサから受信された前記制御信号に基づいて、前記電磁バルブアセンブリを制御するための制御モジュールと、

を有することを特徴とする装置。

【請求項2】

エアフロー排気口が、前記チャンバの壁において形成され、前記栓が、前記エアフロー排気口を閉じる、又は、開けるために、前記エアフロー排気口と分離可能に係合するよう構成されている、請求項1記載の装置。

【請求項3】

閉位置において前記電磁バルブアセンブリを保持するための前記保持部材が、前記エアフロー排気口と係合するための前記栓を保持するための保持力を生成するために、前記プ

ランジャーの周りに配置された永久磁石である、請求項 2 記載の装置。

【請求項 4】

閉位置において前記電磁バルブアセンブリを保持するための前記保持部材が、前記エアフロー排気口に向かって前記栓を押すためのばねである、請求項 2 記載の装置。

【請求項 5】

ファンが、前記コイルアセンブリによって生成される熱を分散させるため、前記コイルアセンブリに隣接して配置される、請求項 1 記載の装置。

【請求項 6】

複数のルーバーが、前記筐体において形成されている、請求項 1 記載の装置。

【請求項 7】

前記電磁バルブアセンブリが、支持部材によって前記筐体内に支持されており、緩衝クッションが、前記支持部材への衝撃を和らげるため、前記栓から離れている前記ランジャーの他端に供給されている、請求項 1 記載の装置。

【請求項 8】

前記制御モジュールが、前記予め設定された周波数で、前記コイルアセンブリをオンオフ切り替えするとともに、前記センサから受信された前記制御信号に基づいて、前記コイルアセンブリを流れる電流の方向を制御する、請求項 1 記載の装置。

【請求項 9】

前記予め設定された周波数又は前記所定の圧力値が、調整可能である、請求項 8 に記載の装置。